

今回は本来の第7回シラバス内容

“ 「地域と中心」 各地域に暮らす人々の想い、憧れ、嫉妬、偏見 ”

の内容を変更し、地域を捉えるための感性・感覚について再考します

地域ビジネス特講Ⅰ

2020後期・金曜4限 / 谷口

分割・区分けで見えてきたもの

住所や地名を基本とする分割・区分と、そうではない
分割区分けによって、特性を見出す可能性を模索してきました。

しかし、提出された課題内容はその多くが地名住所区分による
レポートとなっていました。

もちろん、それが出来ていた課題も提出されています

既存の情報を「調べる」ことだけでは、既存の考えや発想から
飛躍することに繋がりません。

これは「イノベーション」かも!?

この視点を育て、地域の特色を発見や創造するため、
異なる視点からのトレーニングを今回再び試みます。

ではどうしたら良いのか？ 「発想・創造」とは？

- 既存の枠組みを解体する
- 異なる分野の知識や経験と組み合わせる
- 自分自身が興味を惹かれる要素がある

より深く掘り下げることができる！

カンタンに
書いているけど、
じゃあどうするの？

次のスライドへ

所謂「新しいアイデア」はだいたいこのあたりで生み出されるのですが、検索して調べて出てくる答えでは無いので基礎的な一般教養とトレーニングが必要です。

- ・ 既存の枠組みを解体する （名古屋市を例として）

名古屋市の「区」は
既存行政区分では、
このようになる。
これを消し去ってみる。

**一例です
考え方の全てではありません**

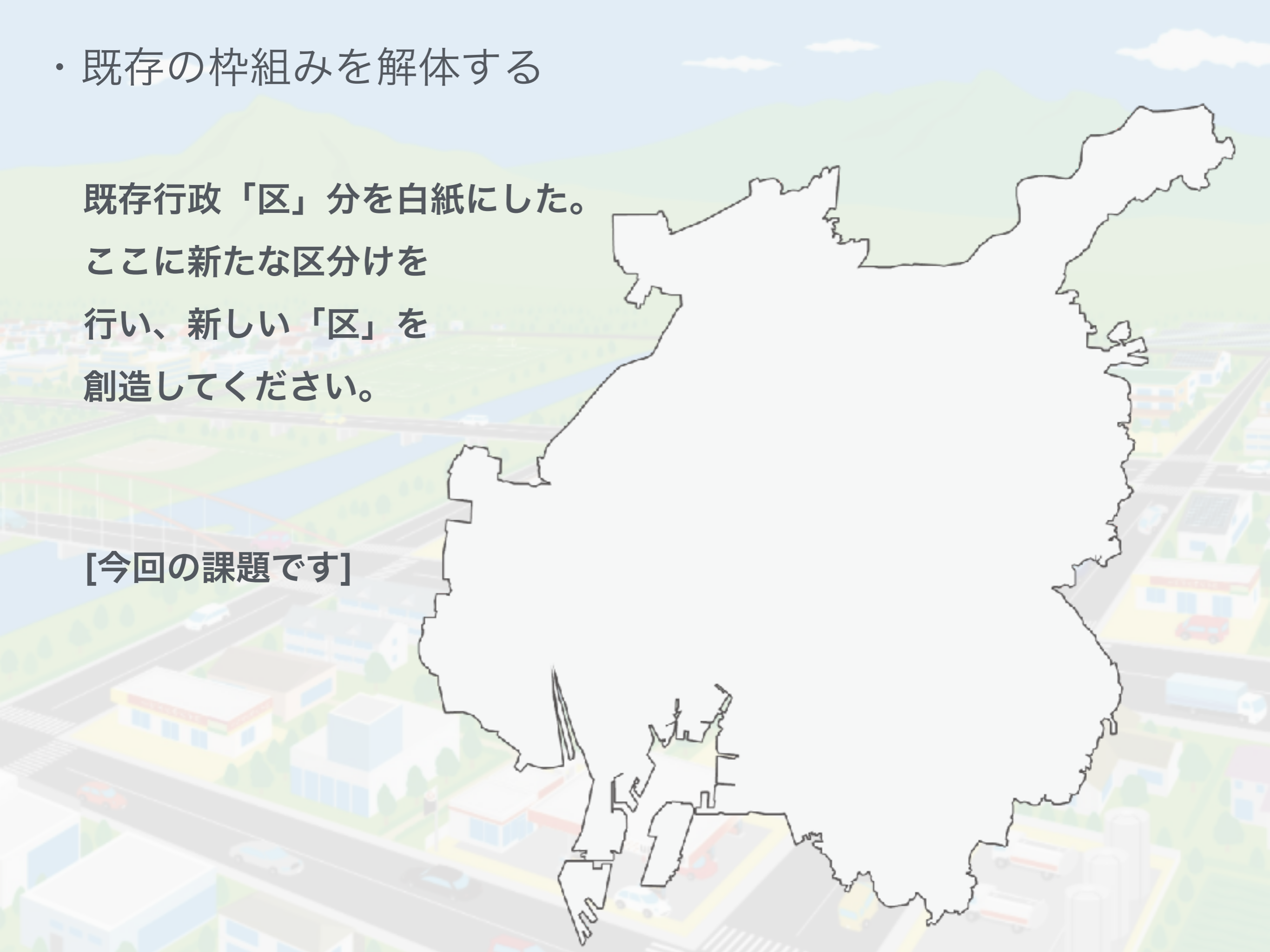


- ・ 既存の枠組みを解体する

既存行政「区」分を白紙にした。

ここに新たな区分けを行
い、新しい「区」を創造してください。

[今回の課題です]



例：異なる分野の知識や経験と組み合わせる

図形重心を中心に

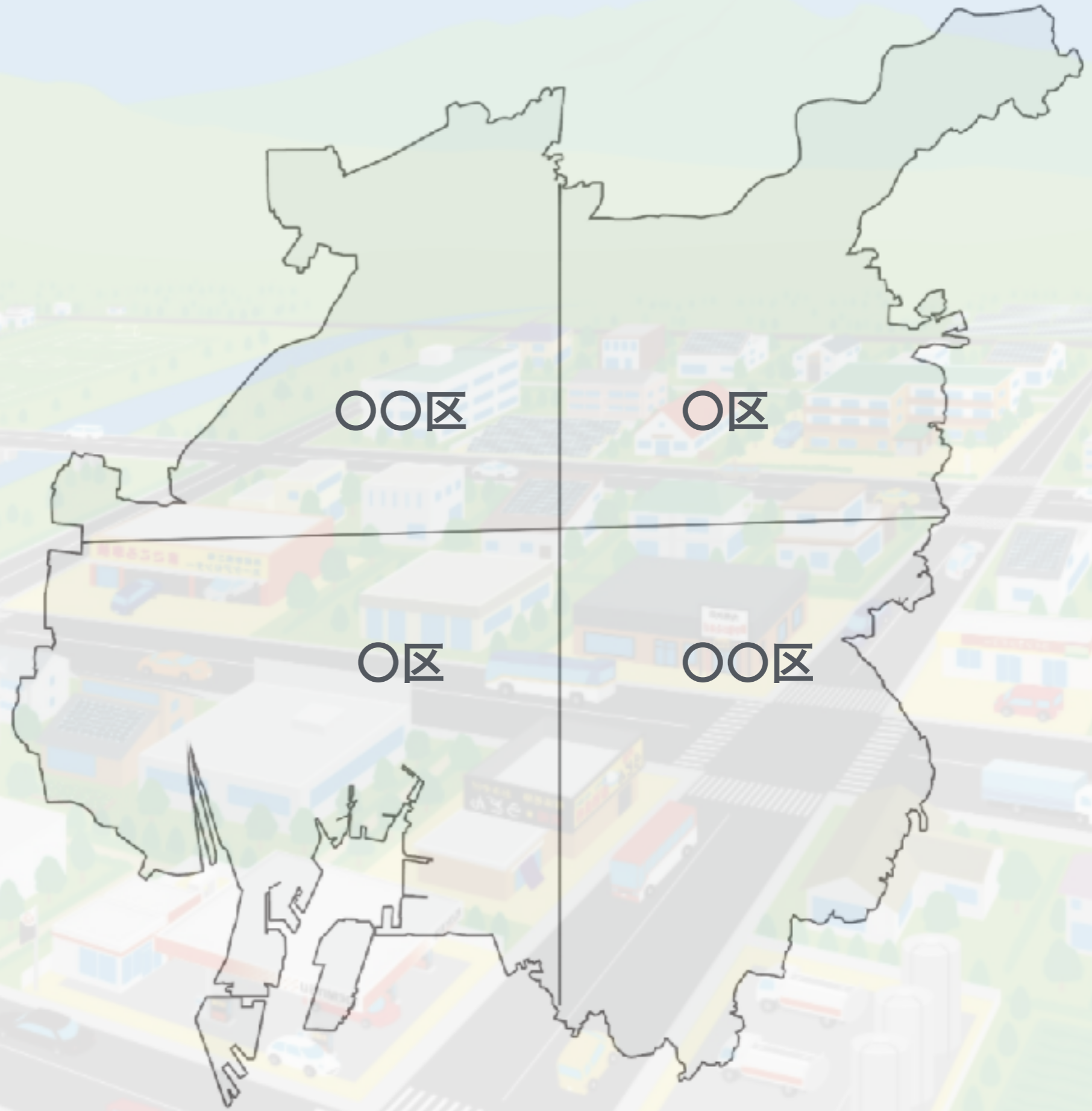
北緯 $35^{\circ}9'$

東経 $136^{\circ}55'$

の経緯線で4等分。

4区に適した名称を

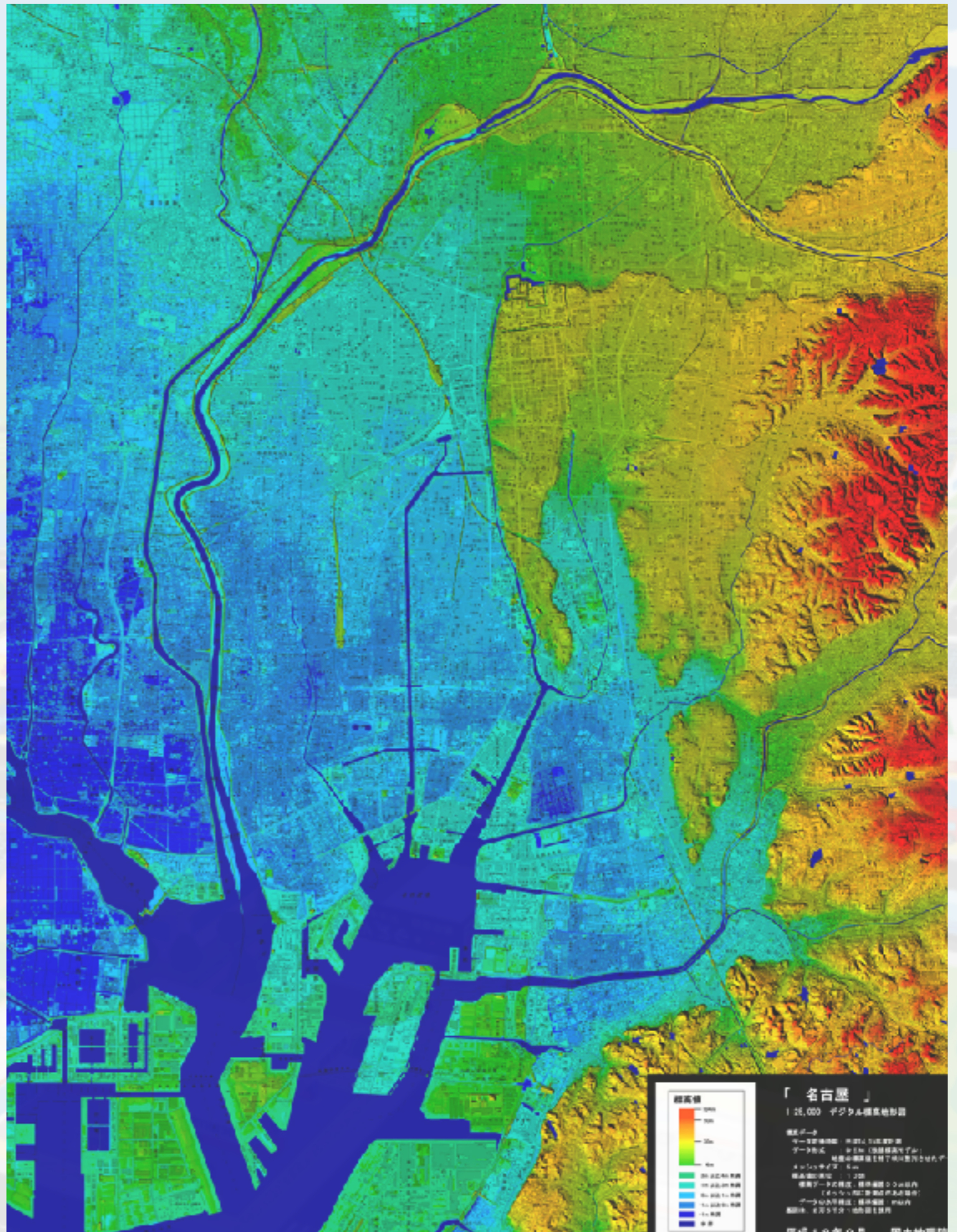
つけるとしたら？



例：

標高で分けてみる。

青系が標高低く、
黄～赤が高い地域。



例：

おおよそ標高8mを境として、
名古屋市を2つに分けた。

2区に適した名称を
つけるとしたら？

さらに細かく
分けるとしたら？

複雑な区境界には
どのような意味があるか？

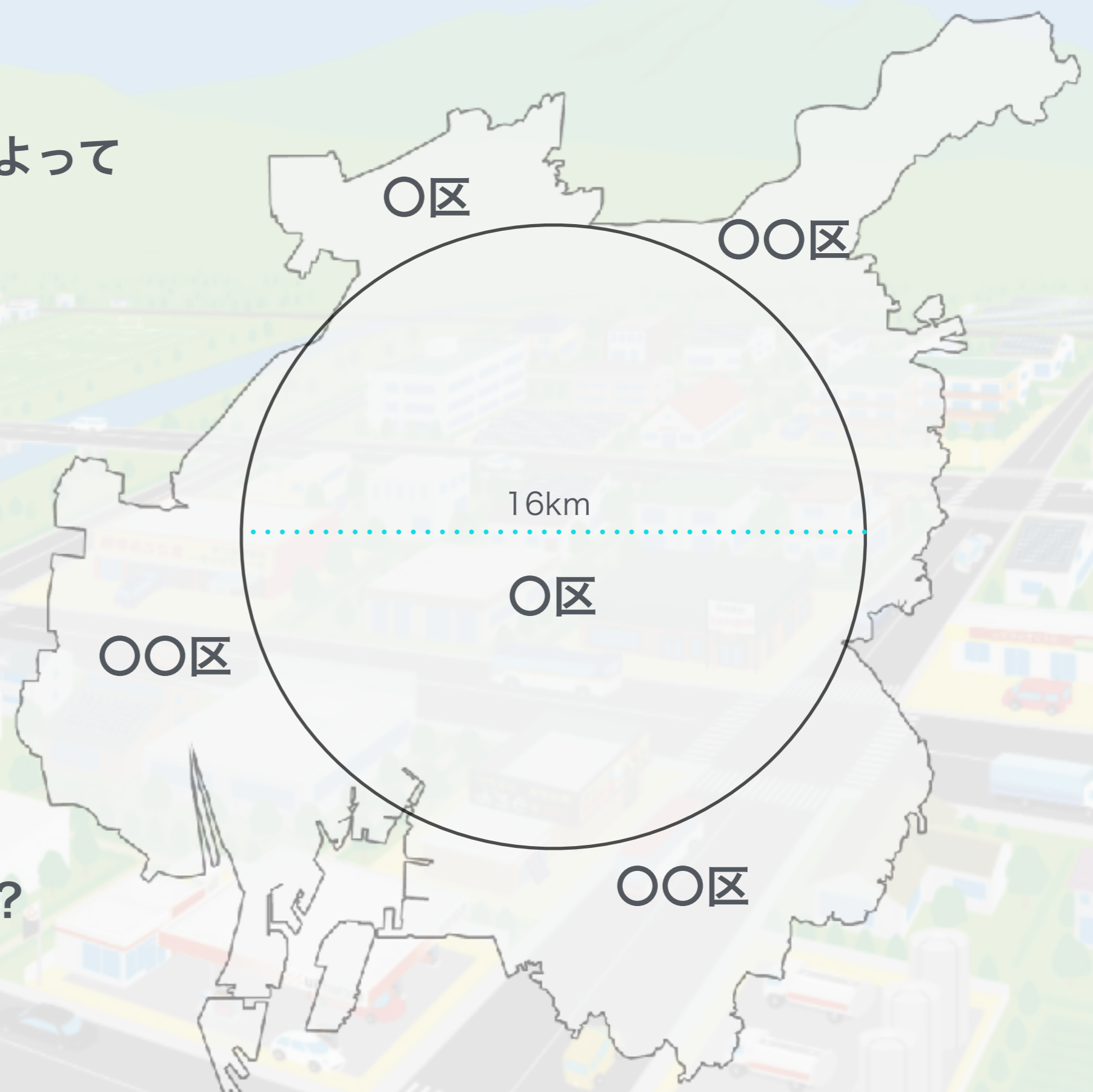


例：

名古屋市に内接する
直径約16kmの円によって
「区」分けとする。

前回授業での
「中心」と「辺縁」
がはっきりと
区分けされた。

どのような特徴が
読み取れるだろうか？



- ・ 既存の枠組みを解体する

本来、街並みを分断する要因であった

主要な道路や高速道路

鉄道などの交通機関

主要河川

なども自然な区分け
としてあるべき姿を
現す可能性がある。



これらは冗談のような思考実験ゲームに
みえますが、大阪市では
2020年11月1日

ついこの間、2週間前！

「大阪都構想・住民投票」

という形で実現一歩手前まで行きました。

もちろん、地名を変更するというだけの問題ではないのですが、
閉塞感ある既存の枠組みを変えるための試みとして、
地域内外の多くの人々の関心を集めました。

内容規模は違いますが10年ほど前に「平成の大合併」で実現した地域もあります。

第7回 課題

1.

既存行政「区」分を白紙にした。

ここに新たな区分けを行い、新しい「区」を創造し、境界線と新区名を白地図に記入してください。

また、その意味と根拠とした情報などを説明記述してください。

課題データとしてGOOGLEスライドデータを配布します。

スマートフォンで編集できない、あるいは操作がわからない場合は、他の作図ツールや手書きした図の写真を追加提出しても構いません。

2.

これまでの授業内容を振り返り、自分の暮らす地域を中心に考え、既存行政区分の存在意義と将来に向け更新・変更すべき点を論じてください。

[800字程度]

課題データとして配布するGOOGLEドキュメントに記述してください。